

チュッピーは子どもの安全を見守るそーじゃ！

【目的】①通学路の安全を促す ②チュッピーのPR

【概要】通学路の出会い頭にチュッピーの飛び出し注意看板を設置。

背景・現状

・総社市内では今年に入ってから、全体の交通事故件数が1008件発生している。そのうち、人身事故が全体で109件、死者は2名発生している。(令和4年9月)

・市内の人身事故は午前8時～10時、午後4時～8時の間に多く発生している。

・過去3年間で総社市内の学区では224件の人身事故が発生している。その中でも、総社学区内では人身事故が56件発生しており、総社市内14学区内で発生した全人身事故件数の約3割を占め、最も多い件数。

・総社市は通学路の安全対策としてグリーンベルトを設置し、通学路の存在をアピールと歩行者との接触事故を防いでいる。

具体的内容

・市内の通学路上の見通しが悪い場所などに、チュッピーの飛び出し注意看板を設置する。

・ドライバーに対して歩行者の飛び出しの注意喚起をする。

・飛び出し注意看板のイメージ

全高約1300mm×幅370mm

イラスト部分約600mm×370mm

対象

通学路を利用する園児・児童・生徒。

あなたの役割

SNSや広報紙を通じて通学路の安全活動をPRする。

予算規模:約300万円

25,000円×100個
(その他, 設置, 選定費用等)

見込める効果・期限

- ・注意看板設置による通学路付近の危険箇所の啓発
- ・グリーンベルトを設置できない通学路の安全対策を補う
- ・グリーンベルトと合わせて実施し、市が実施する安全対策の強化を図る
- ・通学路を中心に市内全域でチュッピーへの親しみを感じることが可能。

実行上の課題

- ・通学路上の看板設置場所の選定とスペース確保が必要
- ・看板の制作と設置場所の選定に時間と費用が掛かる